

今井地区 ジモトで座談会 ～市長と明日のまちを考えよう～

1 サブタイトル

「✧ ミライ輝く 夢語り ✧」

2 開催日時・場所

- (1) 日 時：令和8年3月24日（火）18時30分～20時30分
- (2) 会 場：今井公民館 2階 大会議室

3 内 容

本座談会は、発表者である妄想者が今井地区の未来に対する夢や希望を自由に語り、共感と発想の広がりを重視する“妄想会議”として開催された。→ 別紙「実施要領」参照

4 主 催

今井未来会議(*)及び松本市

* 今井地区を良くする話し合いのプラットフォーム運営、地区の未来に対する建設的な意見の収集及び実行機関等へ提案を行うため昨年11月に設立 → 別紙「今井未来会議について」参照

5 開会あいさつ（要旨）

(1) 今井未来会議発起人：桃井 唯勝

今井は素晴らしい地域ですが、現状のままで良いのかという思いも常に抱いてきました。地区にいくつもの団体やグループがあっても役が変われば話は途切れ、未来を語る場が不足していると感じ、昨年、連合町会長とともに「今井未来会議」を立ち上げました。これは将来の今井を自分たちの手で創るという決意の場です。

本日の妄想会議は「無理」や「できない」ではなく「どうすれば面白くなるか」といった思いを自由に語っていただきたい。皆さんの声が今井の未来を動かす力になると信じています。



(2) 市長：臥雲 義尚

私が2期目に入ってから、松本市の35地区を巡回しております。

本日は、今井で妄想会議というお話を聞いて、これは面白そうだとたいへん興味を持って参加させていただきました。世代の幅が広く、女性参加も多い今井の妄想会議、どんな話が聞けるか楽しみです。

6 妄想会議について

(1) 運営ルール

- ア 発想重視（実現性は問わない）
- イ 否定しない・共感重視
- ウ 他者のアイデアに「乗っかる」
- エ 行政要望ではなく「自助・共助」重視



(2) 参加者の構成 → 別紙「会場配置図、参加者リスト」参照

ア 司会・進行 = 2名

イ 妄想チーム（自由な発想で自身の夢や希望を語る者） = 6名 * 司会の2名含む

ウ 応答者（妄想者の発言をどのように思い、感じたか評価する者） = 9名

* 市長は応答者の一人

エ 中学生応答者 = 4名

(3) 応答者の評価（札で表示）

（赤）実現したい

（緑）乗っかりたい

（青）ナイス妄想

（黄）妄想 200%

発言したい場合は
手のマークも併せ
て挙げる



(4) 一般見学者 = 15名

オープニングは「今井の父ちゃん体操」で !!



妄想会議スタート

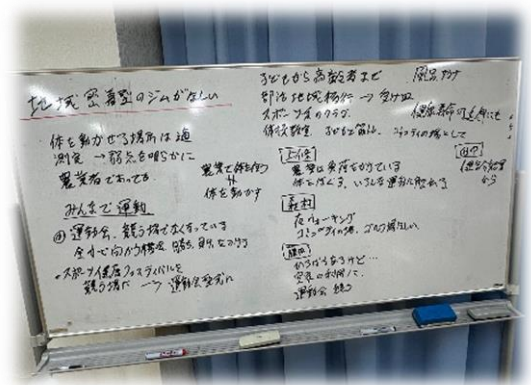


7 妄想談義まとめ

妄想発表		チームによる妄想談義の広がり	応答者の反応・評価
<p>(デモンストレーション)</p> <p>「農業のスマート化」</p> <p>妄想者 :司会2</p> <p>・香川県出身、果樹栽培を営み12年目。</p>	<p>・ドラえもんの「超能力メガネ」があれば、枝や果実の状態を一目で可視化でき、作業が効率化され、誰でも正確に剪定・摘果できると妄想。</p> <p>・剪定や誘引作業で“どの枝を残すべきか”とか、摘果で“どの実を残すべきか”の判断に悩む。</p> <p>・さらに「作業補助パワースーツ」の活用で重い作業を軽減し、高齢者や子どもと一緒に楽しく作業できる環境を期待。</p>		<p>・「実現したい」など好意的な反応が多数。</p>
<p>(その1)</p> <p>「農業を憧れの職業に！」</p> <p>妄想者:C</p> <p>・東京都出身の新規就農者。</p> <p>・今井の温かさに感謝している。</p>	<p>・子どもが自然に農業を選べるように先端技術(スマート農機具・AI・ロボット)と結びつけた体験会、成功農家のインタビューで農業をカッコよく見せたいと妄想。</p> <p>・職業選択の入口で大変さや苦労話は不要。</p> <p>・苦労が強調されがちな中学生のりんご摘果体験は、収穫から販売までチームで行い、ポップの作成や売り上げ競争など楽しい要素を加え、ポジティブイメージを育てたい。</p>	<p>[A]小学校高学年や中学になって楽しい農業体験の機会が増えることを期待。</p> <p>[司会2]安曇野のドローン散布の実例(150万円ドローン)を紹介し、果樹農業への導入可能性を指摘。</p> <p>[D]体験を通じて農業のすばらしい側面が伝わることを希望。</p> <p>[C]生産過程全体が見えないと農業の楽しさに気付くことは難しいので、まずは楽しい部分にフォーカスしたいと補足。</p>	<p>[P(中学生)]大変さだけでなく、農業の様々な側面を体験したいと意見。</p> <p>[E]山梨県のぶどう栽培(シャインマスカット等の摘粒)における眼鏡型デバイスの実例を紹介し、技術革新や儲かる側面を体験することに期待感を表明。</p> <p>[市長]松本のシンカYouTubeチャンネルでスター農家を紹介し、農業への憧れを創出したいと提案。</p>

妄想発表		チームによる妄想談義の広がり	応答者の反応・評価
(その2)	「あったらいい鉢盛中学校高等部」		
妄想者:D <ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県出身。 ・ 満開の花で一杯の今井の果樹園の風景が忘れられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅まで遠く交通が不便な今井は子どもの送迎が課題。 ・ もしも鉢盛中学校に高等部を設け、農業・商業・食物など地域色のある専門学科を配置して地元で就学・就職できる仕組みを整えたら、後継者不足の解消や地域活性化に繋がるのではと妄想。 ・ 交通負担の軽減と地域活性化を同時に実現したい。 	<p>[B]本年度立ち上げた鉢盛中「蕎麦部」との連携や蕎麦甲子園への出場を追加提案。</p> <p>[A]交通の不便さから高校設置を考えたことに共感。</p> <p>[司会2]学校に行けない子ども等フリースクールの要素を加えた学び舎として中学校を拡張したらと提案。</p> <p>[C]社会人向け講座や地域の職業教育と結び付けた視点を補足。</p>	<p>[市長]学校に対する価値観や形態が多様化し、地域が実践の場を設けて職業人材を育てることは、地域の個性発揮と魅力向上につながると指摘。</p> <p>[J]建設業を営む立場から、農業に限らず木工など技能科を設ければ建具や家具職人など地域人材の育成に効果的と発言。</p> <p>[M(中学生)]未来の多様な職業選択の入口として「総合科」を前面に出すのはいかがかと提案。</p> <p>[H]交通事情の悪さを高等部設置と結び付ける発想を称賛。専門学校や大学まで視野に入れた教育構想を追加提案。</p>
(その3)	「今井に地域密着型のジムが欲しい！」		
妄想者:A <ul style="list-style-type: none"> ・ 上田市出身。 ・ 地域全体で子育てをする今井が好き。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地まで遠い今井に、子どもから高齢者まで気軽に通えるジムがあったらいいなと妄想。 ・ ヨガ、ピラティス、整体、プール、お風呂、サウナを備えた地域密着型の施設が理想。 ・ 子育て時のスポーツ系の習い事や部活動の地域展開の受け皿に活用可。 ・ 高齢者の健康寿命延伸を目的に医療機関や保健所と連携し、健康診断・個別アドバイスを提供。 ・ 地域交流促進の場や移住促進のアピールとしても期待可。 	<p>[C]冬場、運動不足の農家が筋トレ・健診に対応できるのは魅力的と賛同。</p> <p>[B]農業で体を使うことと意識的な運動は全く別物とジムの価値を指摘。</p> <p>[司会2]コミュニティづくりの視点からみんなで体を動かす運動イベントの開催を提案。</p> <p>[A]本気で競う運動会やチーム対抗戦の復活を希望。</p> <p>[D、司会2]これに賛同。</p>	<p>[G]筋肉をほぐし、体のバランスを整えるジムの必要性に賛同。</p> <p>[F]体重管理やコミュニケーションの場としてジムの活用を希望し、“ゴルフ場も欲しい”と自身の妄想を披露。</p> <p>[I]空き家をリノベーションしてジムや温浴施設を設置できないかと提案。</p> <p>[K]自身の健康改善のためジムがあったら通いたいと表明。</p>

妄想発表		チームによる妄想談義の広がり	応答者の反応・評価
(その4)	「 下今井太鼓連のお囃子で踊りたい! 」		
妄想者:B <ul style="list-style-type: none"> ・今井生まれ。 ・広々してのんびりできる今井の田舎が好き。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下今井太鼓連で笛が入ったお囃子の曲「道中囃子」を復活させて、地域みんなで踊るイベントの実現を夢見る。 ・中高生や若い子たちも一体となって踊る“日本一速い”盆踊り、岐阜県郡上市の白鳥踊りを見て感化された。 ・白鳥踊りのように「道中囃子」が人々の心をつなぎ、地域に一体感が生まれることが理想。 ・富山県八尾「おわら風の盆」や沖縄の三線踊りを参考に、手の動きが美しい古典的な振付も取り入れたい。 	<p>[C]踊りを通じて地域のみなが一体となることに賛同。</p> <p>[D]“松本ぼんぼん”に出場して楽しかった経験から今井の踊りにのせるお囃子の実現を期待。</p> <p>[A]地域密着で体験する小学校の太鼓などが中学校に引き継がれないのはもったいないと指摘。</p> <p>[司会1]小学校で経験したことが中学、高校に引き継がれ、大人になって地域に還元される仕組みの実現を希望。</p>	<p>[市長]地域に太鼓や踊りの受け皿があれば、中学部活の地域展開の一モデルになると指摘。学校ではできなかった特殊な種目や中学生が真に求めるスポーツ、文化、探求活動ができて、地域の大人と一緒にできることは一石二鳥の取組みと今後の展開を期待。</p> <p>[P(中学生)]部活の地域移行を、大人の皆さんが参加するきっかけになればと歓迎。</p> <p>[N(中学生)]大人やお年寄りと交流できて、地域のつながりが深まることに期待。</p>
(その5)	「 今井にラジオ局を作りたい! 」		
妄想者:司会1 <ul style="list-style-type: none"> ・今井生まれの果樹農家。 ・やる気さえあればいろいろなことが実現できる今井が好き。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業や家事、目覚めが早い高齢者等が耳から情報を得る習慣に着目し、今井にラジオ局を作りたいと妄想。 ・ミニFM局(免許不要)又はコミュニティFM局を開設し、曜日や週替わりのパーソナリティが公民館ニュースや地区のイベント、道の駅・保育園・小学校の情報、町会役員等の紹介、店舗インタビューなど多彩な番組を提供。 ・住民同士、顔が見える関係を築き、災害時には情報拠点としても機能させたい。 	<p>[C]今井の方言講座や中学校とつないで「若者の主張」コーナーを希望。</p> <p>[司会2]運動会場からの中継など様々な行事とコラボできる可能性を指摘。</p> <p>[A]小学校のマラソン大会で「学習公園」がわからなかった経験からローカルな言葉や場所の説明を希望。卒業や入学に寄せる両親、祖父母、先生の思いも番組にしたらと提案。</p>	<p>[L]昔の有線放送から農家が気象情報を即時に得られるメリットを指摘。</p> <p>[F]コミュニティFM局を作りたかった自身の夢を披露。3.11の大震災以降コミュニケーションツールとして重要性が増していると指摘。</p> <p>[市長]今、必要な情報がワールドワイドかウルトラローカルかに両極化し、今井の人たちが望む身近な情報を発信する手段に、このラジオ局がなり得ると指摘。情熱次第で実現できるとエール。</p>



8 全体振り返り、まとめ

(1) 感想・講評（市長）

本日は実現性という日々の縛りから離れ、ちょっと自由に発言させていただきました。文字通り楽しく、大変な話より楽しい話、ワクワクする話、そういうことを話していると、何かそこからヒントが出てくるなと思ってお話を聞いていました。そして何より女性の皆さんのパワーを直に感じました。ぜひこの取組みを今井の皆さんが継続して進めていただきたいですし、私の立場からは他地区にも紹介してまいりたいと思います。



(2) 見学者の感想

本日は市長も参加され有意義でした。そして、妄想は無責任で結構だと、責任も問わない、あるいはその妄想をもっと発展させようと大変素晴らしいテーマで取り組んでいただきました。特に、県外・市外からこちらに来られた方の新たな視点や、生活実態から生まれる話が多く、応答者の反応も希望のある言葉が並んでいました。

(3) まとめ（総合司会：古池 智）

今井には、信州まつもと空港、松本山雅のアルウィン、完成間近の陸上競技場、肥沃な大地と多くの資源があります。そしてこの地を熱く語れる方々がいる限り、未来は明るいと確信しています。

夢を語り、共有し、可視化して実現していく。この会議が未永く続くことを願って、本日の座談会を閉会します。本日はありがとうございました。

